KCP - 同窓会会報 第6号 -▶ 卒業生・修了生の皆さんへ ♪

最近、急に気温が下がり始め、一気に冬が近づいてきたような感じです。でも、ここ1,2 週間は、東京も色々なところで紅葉が見られるようになり、街などを歩いているときの一服の 清涼剤といったところです。



(高尾山)



(昭和記念公園の日本庭園)



(昭和記念公園のイチョウ並木)

卒業生の近況

久しぶりに、イ ソヒョンさん (2009年3月卒業) から、学校に電話がありました。とても 元気そうでしたよ。今は、韓国に帰っていますが、また、来年度から日本へ来るべく準備をし ているそうです。楽しみですね。来日したら、ちゃんと、学校に顔を出してくださいね。 キム ミニョンさん (2009 年 3 月卒業 現在 東京工芸大学・工学部在籍) が学校に来てくれました。バイクの免許を取って、ツーリングなどをして、楽しんでいるようです。

但し、日本の大学の場合、どうしてもそういう傾向になりがちなのですが、日本人の学生が、 全然勉強しないで、遊んでばかりいるので、みんなで遊ぶときは楽しいが、勉強に関しては ちょっと張り合いがないと、残念がっていました。

でも、大学は、自分が勉強するかどうかが一番大切 な点ですから、周りに影響されずに、自分の道を、進 んでください。



真ん中が、ミニョンさんです

キム ダルレさん (2008 年 12 月修了 韓国で復学 現在鳥取大学に交換留学) から、こんなメールが、届きました。

KCP の先生方、卒業生のみなさん 御無沙汰しております 金ダルレです。

もう何回目か分からないくらい行き来しているのですがまた日本にきています。そして御存知かと思いますが、私はいま鳥取にいまして交換留学生として鳥取大学で勉強しています。鳥取は想像した以上に田舎で生活面ですごく苦労しています。東京での便利な生活を考えるとまさにカルチャーショック?です。いろんな意味で(笑)。でも大学で一般の日本人の学生さんと同じ授業を受けるだけあって難しいですがとてもやりがいがあります。そして鳥取で行われる色んな行事にも参加するようにしています。こないだは「日本のまつり 2009 鳥取」や「お城まつり、鳥取」を見に行きましたし、鳥取大学の付属小学校で子供たちと一緒に交流活動をしたり、今日は「鳥取砂丘 LC チャリティーバザー」にお手伝いとして参加して焼きそばを作ったりしました。来週は東京に遊びに行きます。学校にも顔出しに行きますのでよろしくお願いいたします。

(ダルレさんと片山校長)



そして、11月2日に学校に寄ってくれました。 鳥取に戻ったら、課外授業で京都に行くそうです。 また、歌舞伎も見に行くといっていました。羨ま しいですね。

在校生から皆さんへ

先輩の皆さんへ

はじめまして。私は中国から来たばかりの新入生です。よろしくお願いします。

先輩は、KCPを卒業して、好きな大学で勉強したりして、本当に羨ましいです。今、皆さんはきっと、KCPの生活を懐かしいと思っているでしょう。私は、この学校で勉強できて本当にうれしいと思います。縁があって先生たちに出会って、いろいろ親切にしてもらって、とてもありがたいです。皆さんもそう思うでしょう。

ところで、先月(10月31日)学校の学生全員で、昭和記念公園へ行ってBBQをしま

した。みんな、自分の国なりの 楽しい1日を過ごしました。 のですが、私は、新聞部の部員 テストに出品した料理を食べる

みんな、本当に上手でした。

料 お な こ さ ま た

料理を作ったりして、 料理コンテストもした なので、みんながコン ことができましたが、 また、ちょうどその日

(エンエンさん(左端)とMJ3のみんな)

は、高橋先生の誕生日でした。クラスの学生から、大きなケーキをもらって感激していました。

それから、新聞部ではもう 1 つ行きました。青山学院大学です。これは、BBQ の次の日でした。その日は、青学の学園祭でした。KCP を卒業して今青山学院大学で勉強しているコウ シさん (2006 年 3 月卒業) が案内してくれました。そして、日本人と友達になりました。私も、この学校に入りたくなりました。

さて、最近だんだん寒くなりますが、身体に気をつけてください。

MJ3 ソウ エンエン

上級の授業



(安田講堂の前で記念撮影 MJ1とMS1のみんな)

ソウさんが、新聞部で、青山学院の学園祭に行っていたと書いていましたが、12月の留学試験が終わった翌日、KCP共生のMJ1とKCP地球市民のMS1と合同で、東京大学のキャンパスツアーに行ってきました。明治時代に建てられた年季の入った図書館に感動したり、観光名所である赤門で写真を撮ったり、格安で食べられる学食でみんなで会食したりと、けっこう楽しい一日を過ごしました。



そして、進学を希望している学生たちにとっては胃の痛くなるような、受験の日々が始まりました。

*編集担当河島 *